

特色

隣接型および分離型で小中一貫教育を進めています。

児童生徒理解を中心とした教職員の合同研修の実施や、子ども同士の交流活動を充実させ、中1ギャップの解消に努めています。

2019～2021年度

国分寺中学校区実践研究

「学び合いを支える

コミュニケーション能力の育成」

全教科・領域において「学び合い」を支えるコミュニケーション能力を育成します。

組織体制

推進部会

事務部会

教務部会

学習指導部会

- ・授業研究チーム・学力向上チーム
- ・特別支援チーム

【学びをつなぐ】



小学校・中学校で共通して「家庭学習協調週間」を設定するなど、9年間の学びをつなぐ、揃えることで、安心して学習に取り組めるように工夫しています。

児童・生徒指導部会

- ・子ども未来プロジェクトの推進
- ・国中学校区生活のきまりの見直し
- ・小中学生交流活動

【小中交流】



小学生や中学生の代表が、子ども未来プロジェクトの活動について話し合ったり、6年生と中学生が交流したりします。

健康安全指導部会

- ・学校保健委員会
- ・望ましい生活習慣への働きかけ
- ・食育授業

【食育授業】



栄養教諭が中学校や小学校で食育の授業を行います。

【学校保健委員会】



中学生や学校医の先生方、PTA役員さん、自治会長さん並びに小中学校の先生方や行政関係者が参加しての委員会です。

地域連携部会

- ・里山活動
- ・読み聞かせ
- ・作品交流

【里山活動】



中学生が地域や小学校の落ち葉を集め、地域の方に堆肥にさせていただきます。

【作品交流】



小学生や中学生の作品を公民館や学校に展示して、鑑賞していただきます。

国分寺中学校区 小中一貫教育グランドデザイン

国分寺中学校区の目指す子ども像

○学び合い高め合う子ども

○主体的に人や社会に関わる子ども

学びを深める	中3	・多様な意見を、自分なりに解釈しながら聴くことができる。 ・わからないことなどを質問し、話し手の意図を理解することができる。	・他の人の考えと、自分の考えとを関連づけて伝えることができる。	・時と場合に応じてコミュニケーションをとることができる。
	中2	・どんな意見でも受容的な態度で聴くことができる。 ・他の人の考えと、自分の考えを比べながら聴くことができる。	・自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ・時と場合に応じた言葉遣いを行うことができる。 ・自分の考えを明確にし、理由も交えて伝えることができる。	・時と場合に応じたあいさつ、返事ができる。 ・相手の気持ちや立場を考えて、自分の思いを伝えることができる。
	中1	・大事なことを落とさずに聴くことができる。 ・わからないことを、友だちに尋ねることができる。	・自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ・相手を意識した話し方ができる。	・自分から元気の良いあいさつ、返事ができる。 ・話を最後まで聴き、自分の思いを伝えることができる。
学びを広げる	小6	・先生や友だちの顔を見て、反応しながら最後まで聴くことができる。 ・聴いて、わかったこととわからないことを、区別できる。	・自分の思ったことを素直に話すことができる。 ・聞きやすい声の大きさ、言葉で話そうとすることができる。	
	小5			
	小4			
学びの基礎をつくる	小3			
	小2			
	小1			

安心感をもって学び合える学級 心身共に健康で自分を大切にする子ども

児童生徒のようす
 明朗で礼儀正しく、落ち着いた態度で学校生活を送っている。特に、学習に対する意欲が高く、学習課題について、協力し考えを深める姿勢が身に付いている。また、合唱や清掃の交流、小学生の中学校での体験授業など、定期的に小中の交流を行うことで、相互の信頼感を高め、個々の自信や将来の意欲につながっている。

地域のようす
 JR宇都宮線小金井駅を最寄りの駅とし、交通の要所である国道4号線を中心線として、東西に開けた自然豊かな地域である。また、旧来より日光街道の宿場町として栄え、下野国分寺跡や国分尼寺跡などの文化遺産を有する歴史と伝統ある地域である。保護者や地域住民は学校の教育活動に理解があり、協力的である。

